

看心ふらの

令和5年度第2号(69号)

発行日 令和6年1月15日

発行者 富良野看護専門学校



今年の元旦は例年より暖かく、ご家族で穏やかに新年を迎えられたことと思います。皆様にとって充実した年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。

元日の夕方、能登半島地震が発生し、多くの方々が被災されました。被災された皆様に心からお見舞いを申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。今もなお地震活動は続いており、避難生活を送る人々の命や生活を守るため、保健師、助産師、看護師等の看護職は最前線で支援を行っています。被災地の方々が一日も早く平穏な生活に戻られるよう、私たちにできることを考え実行しましょう。

(校長 石川)

看護技術発表会をしました



<令和5年10月4日(水)・5日(木)>

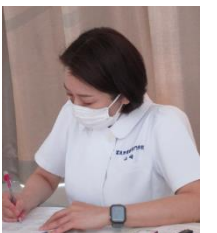
1年生が看護の学習を始めて6か月が経ちました。これまで学んできた知識や技術を、学生が一人ずつ実施し教員の評価を受ける緊張の時間です。患者さんの気持ちに寄り添い、適切なケアができるように、夏休み期間中や放課後にも熱心に看護技術の練習をしてきた成果を発揮していました。



二人で協力して
ケアをします

丁寧にやさしく…

バイタルチェック
は正確に!



先生も真剣



ケアを行った後は
皆で
振り返りをします



準備や後片付けも
大事です



熱心に話し合っています





中学生の皆さんに職業体験をしていただきました

<令和5年10月19日(木)・26日(木)>

富良野西中学校と富良野東中学校の生徒の皆さんに、職業体験をしていただきました。
看護師になるための知識や技術について、とても熱心に説明を聞き、体験を楽しんでいただきました。
当校での職業体験で看護への興味を深め、看護職を目指そうと思ってもらえたらうれしいです。



フィジコさん体験。
心音や呼吸音は聞こえましたか？



看護の基本は手洗いから。
きれいに洗えたか確認！

図書室には専門書がいっぱいです。



老人体験モデルをつけてみました。
よく見えないし、歩きにくい…。



地域・在宅看護論の演習を行いました

<令和5年11月24日(金)>

「スミスメディカル・ジャパン株式会社」様、「函館酸素株式会社」様のご協力で、2年生と3年生が地域・在宅看護の合同演習を行いました。
毎日の生活に医療的なケアが必要不可欠な状態にある療養者の方が、近年増加しています。その中でも人工呼吸器や気管切開、酸素吸入など、暮らしの場で行われている治療や看護を理解するための演習です。人間に近い構造である豚の肺(実物)を人工呼吸器につなげてその形態を観察し、体のつくりや働きについての学習を深めました。



在宅酸素療法についての講義



演習機材



液体酸素に薔薇を入れると
バラバラに！



同じ液体酸素に手を入れても
大丈夫なのはなぜ？

在宅人工呼吸器療法の
実際を学ぶために、
豚の肺で確認します



ケーススタディ発表会



<令和5年12月6日(水)、7日(木)>

3年生がケーススタディ発表会を開催しました。

ケーススタディは、学生が実習での看護経験を振り返り、看護について深く考察する学習です。実習で実際に行った看護について研究論文の形式でレポートを提出し発表し質疑応答の後に学生と教員から講評を受けるという学習内容は、3年間の総まとめでもあります。

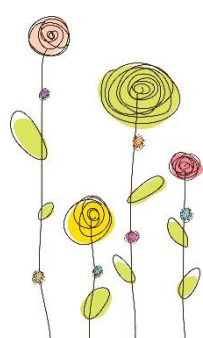
今回の発表会では、対象理解、個別性のあるケア、患者の自己決定、アセスメント、環境、ソーシャルサポートなどについて、質の高い考察が行われました。



スーツ姿も凛々しく
緊張の発表



ケーススタディ発表会を終えて
みんな笑顔です



「看心ふらの」第3号は3月に発行予定です